



事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---------------|--------------|-----|--------|--------------|
| 事業所名 | おもちゃ箱なごplus | | | |
| 保護者評価実施期間 | 2026年 1月 20日 | | ～ | 2026年 2月 14日 |
| 保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 19名 | (回答者数) | 19名 |
| 従業者評価実施期間 | 2026年 1月 20日 | | ～ | 2026年 2月 14日 |
| 従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) | 6名 |
| 事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 27日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強みだと思われること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|------------------------------------|--|---|
| 1 | 職員間でのコミュニケーションが円滑 | 常勤非常勤などの枠を超えて、幅広く意見交換し活動に取り入れている。 | 良いこと悪いこと、なんでも話し合える雰囲気や大事にし、児童にあった支援が出来るようこれからも連携していきたい。 |
| 2 | 毎回の送迎時、児童の様子を保護者に詳細に伝え、共有することが出来る。 | 頻繁に連絡はとっているため、話しやすい（相談しやすい）環境は整えている。 | 送迎先は、自宅、祖父母宅、保護者の職場やお稽古教室等、保護者のニーズになるべく応えられる体制を作っている。 |
| 3 | 季節のイベント活動の充実（毎月） | 季節の行事をみんなで楽しく行うことで、記憶の中に楽しいイベントとして根付くように、毎月行う。 | 中学生・高校生になると知識が増えるので、もっと掘り下げて計画段階から声掛けし、立案してもらう。 |

| | 事業所の弱みだと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|----------------|--|--|
| 1 | 保護者会（父母会）の実施 | コロナ後、インフルエンザ等の感染症拡大の恐れから、大人数での集まりを懸念した為。 | 参加の実施等を保護者に事前に投げかけ、個別と集団での実施等、意見を取り入れて保護者会開催を検討する。 |
| 2 | 非常時の対応力 | スタッフが適切に行動できるかどうかと、保護者への連絡もスムーズに行えるかどうか。 | 保護者へ一斉送信できるSNSやアプリの活用検討。 |
| 3 | | | |